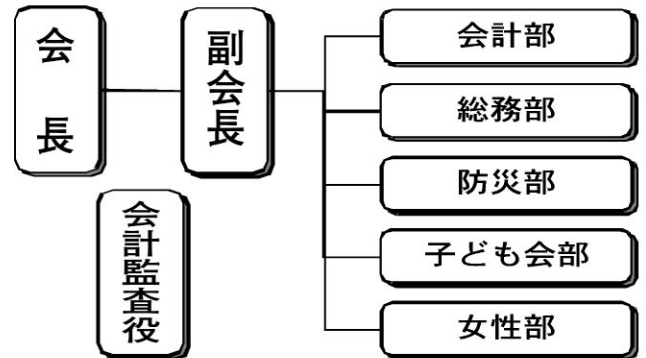


### 歴代会長

初代 石森 衆次郎（昭和29年4月～昭和47年3月）  
 二代 黒田 梅次郎（昭和47年4月～昭和49年3月）  
 三代 黒田 一男（昭和49年4月～平成17年3月）

### 現役員

会 長 松本 富雄  
 副会長 永島 建一・今枝 靖固・村上 昌子



### 町会のあゆみ

当町会は、戦前に「宮園通り一丁目町会」として発足した。終戦によってその活動は中断したが、昭和29年の氷川神社の祭礼を契機に再出発することとなった。その後、宮園通り一丁目という住居表示が変更となり、道路を挟んで東中野と中央に分かれることになり、名称を「宮一会」と改めて現在に至っている。

### 町会の活動状況

町会員相互の親睦と福祉という発足当時からの目的に沿って、年1回の定期総会、月1回の役員会で情報を共有し、氷川神社の祭礼に際しては神輿巡行などで町会内の親睦を図り、結束を強めている。

#### ○高齢者対策

町会員の高齢化が進み高齢者世帯や独居も増えてきた。そこで、町会内の支えあいの一環として中野区から提供される見守り名簿に沿って、希望する世帯への見守りを実施している。年に1度程度ではあるが、近隣の役員による訪問に対して「嬉しい、安心できる」等の言葉が聞かれるようになった。また、月に一度「宮一サロン」を実施し、高齢者の居場所づくりに努めている。敬老の日には75歳以上の町会員に敬老祝いを配布している。

#### ○青少年育成

少子化が進む中、夏休みの映画鑑賞やもちつき大会、年末の子ども夜回り等、親子で参加できる行事を実施し、町会への愛着を高める活動を進めている。また、東部運動会や塔山まつりなど、地域の行事にも町会として参加している。小中学校の新入生には入学祝いを配布している。

#### ○防災・防犯対策

日本各地で地震や水害などの天災が多発し、首都圏でも直下型地震の発生に備えようとする機運が高まっている。町会として町会員のヘルメット購入の補助を行い、防災訓練への参加を呼びかけるなど、防災活動を進めている。昨年（平成28年）には、塔山小学校を避難所とする3町会が合同で「避難所開設訓練」を行った。机上の会議ではなく、実際の合同訓練ができたことで、今後のより具体的な取り組みに結びつくものと思われる。また、小学校の下校時に月2回のパトロール、年末には夜警を実施。文化活動としてバスハイクや落語家を招いて宮一落語会を実施している。

#### ○今後の課題

若い世代、単身世代などの町会への関心が薄らいでいる。しかし、防災面でも少子高齢化社会における支えあいの面においても町会の重要性は高まっている。関心の薄い層をどのように町会に呼び込むかが課題である。

